

気候情報

2010年8月の日本の天候

- 全国的に気温がかなり高く、北・東・西日本では1946年以降最も高かった
- 北日本太平洋側と東・西日本では、月降水量が少なく、月間日照時間が多かった

8月の天気概況

月を通して日本付近で太平洋高気圧の勢力が強かった。東・西日本では、太平洋高気圧に覆われ、各地で猛暑日となるなど晴れて厳しい暑さが続いた。北日本では、南から暖かい空気が入り、気温はかなり高かったものの、日本海側では前線や気圧の谷の影響を受け曇りや雨の日が多かった。北日本太平洋側では、前線や気圧の谷の影響は小さく、晴れの日が多かった。沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われ晴れて暑い日が多かったが、上旬後半と下旬後半は台風や湿った気流の影響で曇りや雨となった。月平均気温は全国的にかなり高く、北・東・西日本では、1946年の地域平均の統計開始以来第1位の高温となった。また、全国の77地点で8月の月平均気温の高い記録を更新した。

上旬：東・西日本では、太平洋高気圧に覆われ、晴れて厳しい暑さの日が多かったが、旬の終わりは南から湿った気流が入り、太平洋側では大雨となるところもあった。沖縄・奄美では、前半は太平洋高気圧に覆われ晴れの日が多かったものの、後半は熱帯低気圧の接近や湿った気流の影響で曇りや雨の日が多かった。北日本では、前線の影響で曇りや雨の日が多かった。

中旬：はじめ台風第4号が対馬海峡から日本海を通り東北地方を横断したため、北日本から西日本にかけては天気が崩れた。その後は東日本太平洋側と西日本では、太平洋高気圧に覆われ、晴れて厳しい暑さが続いたが、北日本と東日本日本海側では、中ごろにかけて前線の影響で曇りや雨の日となった。沖縄・奄美では、旬を通して太平洋高気圧に覆われ、晴れの日が続いた。

下旬：東・西日本では、太平洋高気圧に覆われ、晴れて厳しい暑さが続いた。沖縄・奄美では、前半は太平洋高気圧に覆われ晴れの日が多かったものの、後半は沖縄本島北部を通過した台風第7号や熱帯低気圧の接近で曇りや雨の日が多かった。北日本では日本海側

を中心に、前線の影響で曇りや雨の日が多かった。

8月の気候統計

月平均気温：全国的にかなり高く、特に北日本から西日本にかけては平年を 2°C 以上上回ったところが多かった。

月降水量：西日本太平洋側でかなり少なく、北日本太平洋側、東日本、および西日本日本海側で少なかった。これらの地域では平年の40%を下回ったところがあった。一方、北日本日本海側と沖縄・奄美では多かった。

月間日照時間：北日本太平洋側、東日本、および西日本で多かった。一方、沖縄・奄美では少なく、北日本日本海側では平年並だった。

(気象庁観測部統計室)

8月の記録(1位更新のみ)

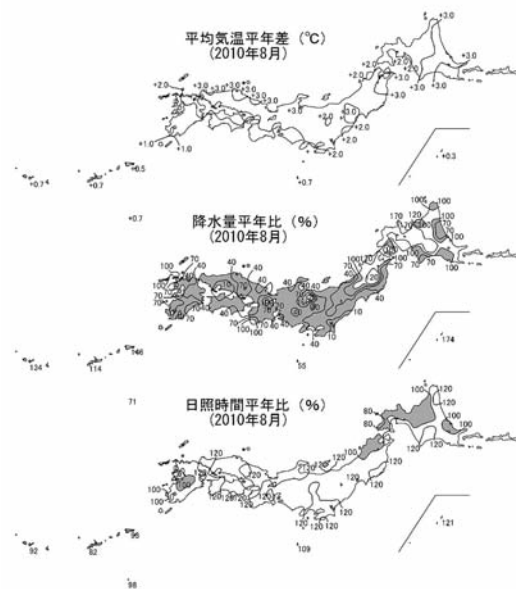
・月平均気温高い方から(°C)

帯広 23.4 仙台 27.2 東京 29.6
大阪 30.5 岡山 30.5 福岡 30.3
など77地点

・月降水量少ない方から(mm)

館野 5.0 広島 5.5 呉 0.0
福山 2.0

2010年8月の平年差(比)図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す。